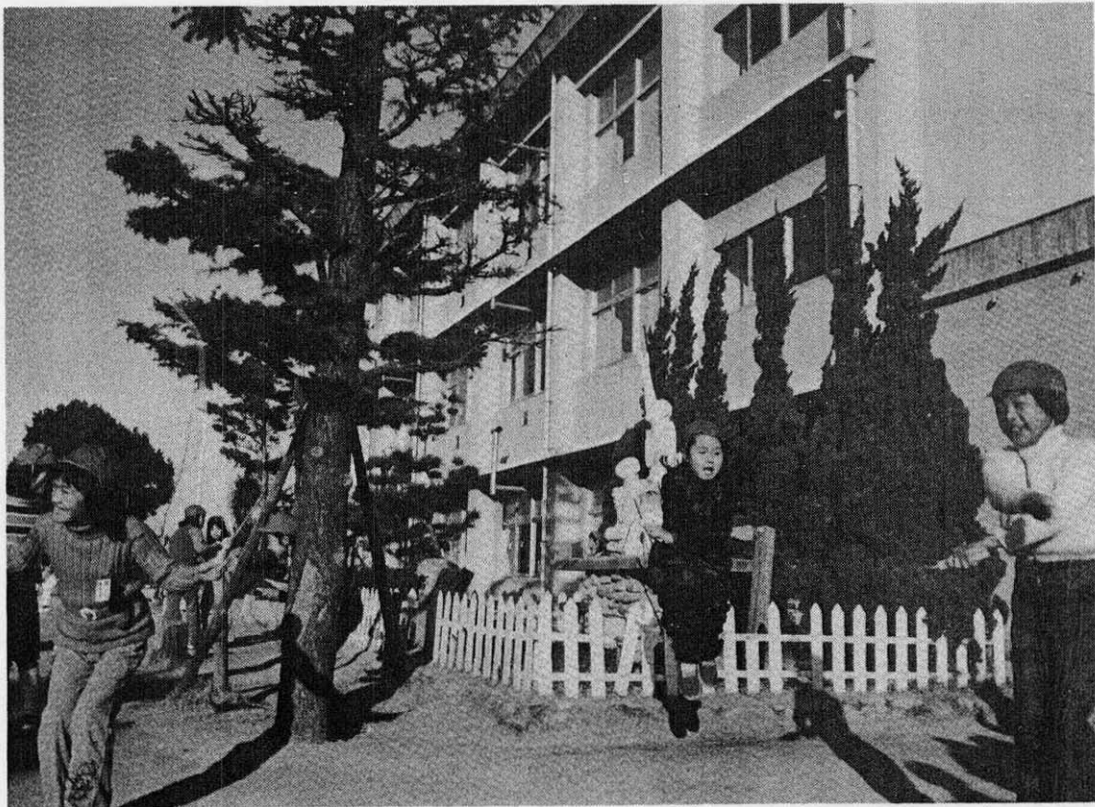




ピエン、ピエン、  
なわの音が気持ちいい。  
トントんと 大地をける。  
足がはずむ。  
だんだん体が熱くなってくる。  
息が苦しくなってくる。  
ちよっと つかれて休んだら、  
足もとに青い草が見つかった。  
春が近いんだなと思った。  
さあ、もう一ど  
がんばって、とんでみよう。

(五年 井上幸子)

昭和52年3月1日 / 編集発行 / 岡崎市教育委員会



(早春の日ざしの中で—矢作北小)

# 見る 観る 視る

## 看る 診る

大 須 賀 康 宏



す。三平方の定理さえ知っていなかったら、すなおに「 $BC \parallel AB$ 」の関係がみえたのに、残念なことに妙なものに束縛されてしまったのです。こうなると、知識や技能はカスミがかかってしまい、みる働きがにぶくなることとなります。

「いや、それは、本当の知識・技能になっていないからだ。」

と反論する人がいるかもしれませんが、知識や技能には、本当もうそもなく、エネルギーとして働くか、コレステロールのようなカスミになってしまいかは、一にかかつて、「見る、考える、処理する。」といった精神機能の働きの良否によると考えます。

デカルトは、その著書「方法序説」の中で「明証・分析・順序・枚举」の四つの規則を提示していますが、その第一の明証の規則で、速断・偏見を避けるように強調しています。すなおな心が本質を見るのです。自由な心が本質にせまるのです。

ここでいう偏見とは、過去において、すでに生じている方向を誤った見方のことを指さしています。

この月報が出るころには、新しい教育課程の具体案が発表されていると思います。独断と偏見をさけ、すなおな心、自由な気持ちで、新しく出る教育課程をみていきたいと願うこのごろです。



### 教え子気質

十年後のぼくをみてくれ

足立多嘉丸

先生お元気ですか。ぼくは勉強もできずいるのかわからないくらいに存在でした。今、飲食店に勤めています。この間、店の娘が、「靴を磨いて」「床をあげておいて」「せんとく物を干しといて」と言いつけました。主人の娘ですから靴くらいは磨きますが……男として怒りさえ感じました。だが、その後で「男じゃないか、このくらいのことで、十年後のぼくをみてくれ……」先生ご安心下さい。

豊かさの中で育てられた彼であったがこれこそ自分を鍛えるチャンスだ。「おれも男だ」と、いう気力を持っていたのである。

(南中)

友だちっていいもんだ

加藤 貞子

身長94cm、体重12kg。入学以来、もら

をねらいとして行うことがたいせつです。算数科では、ものごとを「理想化してみる。」「抽象化してみる。」「条件をはつきりさせてみる。」といった「はたらき」が正面に出てきます。

この「みる」というのはたつきは、視覚を働かせて、ものの存在、形状、様相をとらえることのほかに、味をみる、調子をみる、変化をみるなどのように直観的

- 算数教育は
- 対象を数理的にとらえること
- すじ道をたて考えること
- 統合的・発展的に処理すること

〈かんがえる〉

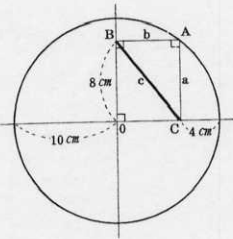
〈みる〉

〈処理する〉

なもの、ためしてみる、調べてみる、全体を1とみるなどのように思考を働かすものなどがあげられます。

左の図を見てください。そして、直線

BCの長さは、何cmになるか考えてみましょう。どうです、求まりましたか。BCはACに等しいのですから10cmです。



しかし、三平方の定理を学んでいる人は「 $BC = AC$ 」を使ってみたくなりがちで

(奈良女子大学文学部付属小学校 教諭)



桜三千種

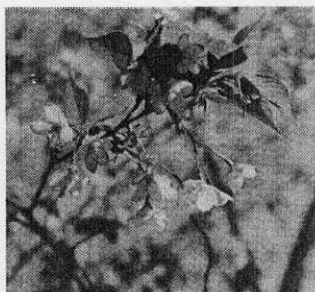
ソメイヨシノ

いろいろな変異がある。桜の八重咲きのもは、他の植物と違って一重咲きのもより高尚で、地味な感じを受ける。一般に八重のものは実をつけられないものが多いが、八重の桜が実をつけられない理由は、その花弁のつき方に秘密がある。ヤエザクラの花弁を見ると、まれにその先端に葯(花粉の入っている袋)をみつけることがある。八重の花弁がおしべの变化したもの(おしべの花弁化)であるという証憑である。そのため、八重のみごとなものはおしべがない。ここにヤエザクラの実を結ばない秘密があるのである。

桜といえは「春」を思い、花見といえは、岡崎公園の桜が目につかぶ、春の岡崎は花の都、岡崎公園をはじめ、伊賀川堤、東公園など岡崎市内には桜の名所が数多い。昔から、桜三千種といわれ、桜には品種や変種が数多くある。ソメイヨシノやヤマザクラは、春に一齐に咲き、短期間に散る桜として、一般によく知られている。いろいろな種類の桜が見られるのは、何といつても岡崎公園である。珍らしいものとしてはシダレザクラがきれいに咲く。シダレザクラは、エドヒガンという桜の枝垂品種である。このシダレザクラは、枝のおもしろさや、花の咲いたときのおもむきから、古くから植えられてきた種類だけに、いろいろな栽培品種があつて花の色だけでも白色から淡紅色まで

状態になつて終りとなる。シナミザクラは二月から三月に花を開く、市内で珍品の一つである。東岡崎から分子科学研究所(元教育大学)へ行く途中の屋敷内に植えられている。そしてこの花を追いかけるように咲くのがヒガンザクラである。これは、岡崎公園の川べりに見ることが出来る。いわゆる桜前線は、各所に植えられているソメイヨシノの開花日を等値線であらわしたものであるが、それ以前に、あちこちの庭先で、公園の片すみで、奥ゆかしく春を付けている桜があることを知つていただけたらどうか。

もうすぐお花見のシーズン。花見酒で、ほんのり桜色に染まるのも結構だが花を見ずに人を見て帰るのでは咲いた花がかわいそう。花弁や花の咲き方、色の違いなどにも目をやつていただけたら、咲いた桜も大喜びすることであろう。伊賀川堤の桜のつばみも目立ってふくらみを感じさせるきょうこの頃である。(城北中 加藤 直男)



ヤマザクラ

してもあたりかまわず下着を脱いで平気である。五月から、友だちと帰宅させると、店に寄り、菓子がほしいとだだをこねたり、自分の家へ帰る道がわからず立ちずくんできまう日子。

「先生、この字、まちがってないよ。ほめてやりんよ。」

「日子は○ばつかりもらえていいねえ、算数もがんばりんよ。」

日子がピアノを上手に吹くと、みんなが自然に拍手をとる。日子をいじめたり疎外したりするところを見かけたことがない。友だちついでいいんだ。

M子の手紙

酒井 芳宏

(山中小)

「先生、恋人めつかった?いたらおしえて、と言いたいけど、たぶんないよな。残念だな。」

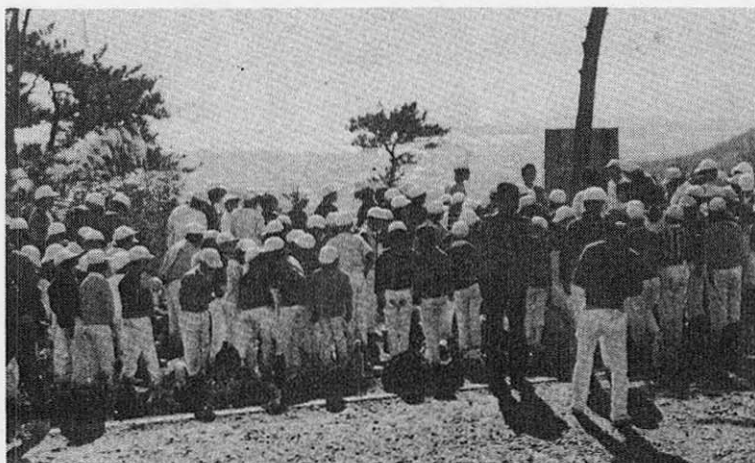
西尾へ転校して二年になるM子の三度めの手紙の書き出しである。

新卒で受け持った四年三組の中で、小柄な目立たぬ存在であったM子。初めての家庭訪問では、私が玄関をあけたとたん、奥の部屋へ隠れてしまった程のはずかしがり屋のM子。口数の少ない子で、打ち解け合うこともなく、半年で私から去ってしまったと思つていたM子から、このように親しみをこめた手紙が届いた。「四月で中学。悩みなんかあつたら、先生に手紙出します。だから協力してよ(よつし、まかしとけ!)」(大樹寺小)

# 培う

## —ユニークな学校行事—

全校児童が桑谷山へ登る海に見える頂上で、なかよし音楽会をやり下山する。通学団グループで行う楽しい行事のひとつである。▶



生徒会行事として毎年ささゆりを採集し、老人ホームの慰問や日頃お世話になっている方々に届けて感謝の意を表わしています。

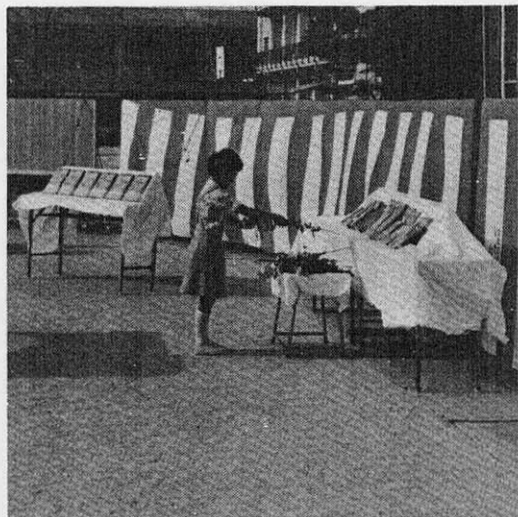
◀心のふれあいを重視する。  
特別教育活動の一環として余暇（夏休み）を利用して全校あがてのボンツク大会大いに氣勢あがる。

◀子どもたちの交友関係を広げるため、たて割りグループによる遊びと、飯ごう炊さんを行った。カレーライスとはとても好評だった。



# 鍛える 創る

手の労働訓練を目的とし  
土・竹・紙を素材とした作  
品で埋まった。児童会主催  
の「土鈴まつり」の作品群  
◀も人目をひいた。



▲ 滝山寺の火祭りの日に行うこの  
行事は、ひとりひとりが郷土をみ  
つめなおし、誇りを持たせるため  
に始められたもの。

▲ 図書館祭の一連の行事のうちの  
中心的なものである。

児童会図書委員の運営で全児童  
が廃棄図書に感謝の意を表わすも  
のである。

論語に我十有五にして学に志すと▶  
ある。毎年立春吉日を期して自己  
の向わんとする方向を定め心の灯  
を点ずる厳肅な一瞬である。



## 昭和51年度教育研究論文入選者

## 教育委員会賞

## 努力賞

## ● 個人研究の部

| 校名     | 氏名    | 教領  | 科域 | 主 題                  |
|--------|-------|-----|----|----------------------|
| 広幡小    | 依馬 幸子 | 国 語 |    | 自ら学ぶ力を育てる国語学習の指導     |
| 愛宕小    | 本田 早苗 | "   |    | すすんで書きたがる子にするために     |
| 細川小    | 安江ちよ子 | "   |    | リコピ一的説明文からの脱却        |
| "      | 二瓶 千秋 | "   |    | 充実したひとり調べをめざして       |
| 岡崎小    | 山内 博史 | 社 会 |    | 思考体制の変容の追求とその評価の研究   |
| 六名小    | 清水 淳吉 | "   |    | 社会科学学習の人間化           |
| 大樹寺小   | 長坂 則彦 | "   |    | 地域を見つめる目を育てる社会科指導    |
| "      | 近藤 克実 | 理 科 |    | 理科学習の変容について          |
| 連尺小    | 長谷川四郎 | 音 楽 |    | 読譜指導の実践              |
| 岡崎小    | 長坂 幸雄 | 体 育 |    | 陸上運動の中心的技能の向上をめざして   |
| 緑丘小    | 小倉 昭人 | 家 庭 |    | 失敗が成功につながる授業         |
| 六ツ美北部小 | 稲垣 豊  | 道 徳 |    | 資料と子どもとの接点を求める道徳指導   |
| "      | 高木 和広 | "   |    | 資料の効果的な活用            |
| 根石小    | 中村 巖  | 特 活 |    | 特別活動における教師の指導性       |
| 三島小    | 牧野伊佐夫 | 視聴覚 |    | 自ら学ぶ力を育てる放送教育        |
| 福岡中    | 杉浦 博司 | 国 語 |    | 自ら読み求めていく文学の授業       |
| 城北中    | 佐々木俊輔 | 社 会 |    | 社会認識を深める社会科学習指導      |
| 六ツ美中   | 杉浦 健支 | "   |    | 作業化による「主体的な社会科学習」の実践 |
| 矢作中    | 岩瀬 則次 | 数 学 |    | 子どもの考えを大切にしたい関数指導    |
| 葵 中    | 平野 有行 | 視聴覚 |    | 学習意欲を高め、認識を深める学習指導   |

## ● 共同研究の部

| 校名     | 氏名        | 教領  | 科域 | 主 題              |
|--------|-----------|-----|----|------------------|
| 常磐南小   | 低学年部会     | 算 数 |    | ひとりひとりの考えを育てる授業  |
| 六ツ美北部小 | 現職教育研究部   | 音 楽 |    | 「歌ごころ」を求めて・その歩みか |
| 井田小    | 現職教育部     | 体 育 |    | 体力づくり            |
| 六ツ美南部小 | 道徳研究高学年部会 | 道 徳 |    | 個の変容を求めた道徳授業     |
| 奄海中    | 数学研究部     | 数 学 |    | 全習→分習による図形指導     |
| 甲山中    | 理科研究部     | 理 科 |    | 個々の追求する力を伸ばす理科指導 |
| 六ツ美中   | 現職教育部     | 道 徳 |    | 道徳教育の実践と深化をめざして  |
| 岩津中    | 二年部会      | 特 活 |    | 学級通信を軸とした学級経営    |

## ● 個人研究の部

|       |        |       |      |
|-------|--------|-------|------|
| 島田 成子 | 梅園小    | 福応 謙一 | 六名小  |
| 岩月 茂仁 | "      | 金子 一元 | 竜美丘小 |
| 稲葉 道彦 | 生平小    | 西崎 久代 | 連尺小  |
| 足立 道子 | 矢作南小   | 岡本 知子 | "    |
| 杉浦 尚子 | "      | 佐藤真寿美 | 細川小  |
| 本多 有三 | 三島小    | 清水 弘  | 広幡小  |
| 中根 恒夫 | "      | 小出 明  | 大樹寺小 |
| 野々山宣子 | 福岡小    | 原田 昭典 | "    |
| 大日川和子 | "      | 稲垣 敏子 | 矢作西小 |
| 竹内 昭次 | "      | 大野 清子 | 岩津中  |
| 黒野 喜美 | "      | 池田 祐二 | 矢作中  |
| 東原 仁  | 秦梨小    | 鈴木 優  | 南 中  |
| 加藤 栄  | 男川小    | 藤井 孝弘 | 城北中  |
| 早川 正己 | 本宿小    | 福応 節子 | "    |
| 鈴木 幸子 | 六ツ美北部小 | 竹川 正彦 | 葵 中  |
| 安藤 恒夫 | "      | 大林 恵子 | 奄海中  |
| 鈴木 勤三 | 井田小    | 牧内 映雄 | 福岡中  |
| 尾崎 芳信 | 奥殿小    | 岩月 慎自 | 常磐中  |
| 土岐 久夫 | 美合小    | 古田 忠久 | 河合中  |

## ● 共同研究の部

|            |              |
|------------|--------------|
| 福岡小国語部     | 矢作北小現職教育部    |
| 広幡小一年部会    | 葵中国語部        |
| 梅園小理科部     | 南中理科部        |
| 岩津小現職教育体育部 | 甲山中美術部       |
| 大門小高学年部会   | 甲山中現職教育技術家庭部 |
| 連尺小特殊教育部   | 甲山中学習環境研究部   |
| 愛宕小親子視聴研究部 | 美川中英語部       |
| 矢作西小中学年部会  | 香山中現職教育部     |

## 一 応募総点数

|        |      |    |      |
|--------|------|----|------|
| 小学校 個人 | 182点 | 共同 | 43点  |
| 中学校 個人 | 59点  | 共同 | 44点  |
|        |      | 計  | 328点 |

## 体育的活動（遊び）を

### 通した学級づくり

梅園 小

岩月茂仁

学級づくりの具体的方策は、いろいろ考えられるが、私は体育的活動（遊び）を中心に、学級の雰囲気づくりをしようと考えた。

集団として、遊びの中にとけこむことができるようになればおのずと学習場面、生活場面にも適用され、一つのまとまりある学級が育っていくのではないか。

そこで、次のような内容で実践を試みた。

(1) マラソン旅行、馬とびレース  
片足とび。

(2) なわとび（回数とび、各種とび）

(3) サッカー（現在実施中）

(1)(2)(3)は、それぞれ学期ごとに目標を決め、個人、グループ（小集団）によって遊びカルテに記入しながら実施した。はじめは、個人に焦点をおきしだいにグループ（小集団）へ発展させ、さらに学級という集団へ働

きかけ、学級の中へ個人をとけこますことを考えた。

マラソン旅行は、岡崎梅園小を出発し東海道の旅をマラソンで行うことを目的に実施した。

「ぼくは、今、静岡まで走ったんだよ。」

「あとすこし走れば、豊橋につくんだ。」

一週間に一度のマラソン旅行の距離発表が児童にとって興味深い時間であった。

秋の大運動会では、四年生としてなわとび体操を行った。クラス全員が練習の材料を提供したことは、児童にとって大きな自信となつて心に刻まれたことであろう。なお現在、児童はサッカーを真剣に取りくもっている。

体育的活動（遊び）を通しての学級づくりで、児童ひとりひとりが集団の枠の中で、それぞれ自分の役割に責任を持ち生き生きとした姿を發揮してくれる。そのためにも、教師は生きていく教師でなければならぬ。生きていく教師を期待しているのである。



## 教育日々

## 壁新聞作り

甲山中

西村安代

生徒会主催で壁新聞コンクールがあり、十組もさつそく参加することになった。教師となつて早々、特殊学級に配属となり、生徒達になんとか意味の通る作文を作らせようとするふん努力してきたのだが、いまだになかなかうまく書くことができない。

そんな子供達に壁新聞というものを作ることができたらどうかと、少し心配であった。さて、いよいよ何を書くかということになった。すると、みんな考えこんでしまつて一つの見解も出ない。どうしたらいいのか全くわからないといった顔の生徒達を見て、こちらの方が途方に暮れてしまった。

それでも何とかしなくては、と気を取り直して他の先生方の助言をうけながら、俳句・先生紹介・学級ニュース・生徒紹介などをとりあげた。その中から生徒の俳句を拾ってみよう。

目を守る遠望訓練大事だ  
かんけりの音が響くよ希望ヶ丘  
甲山は緑とクラブ日本一

生徒紹介のコーナーでは、各自持ちよつた写真を切りぬいて張り、その横に他己紹介をつけた。たとえば「H君はなわとびが得意です。」「S君は先生に注意されるとふぐみたにふくれます。」という具合である。

こうして、しだいに枠組ができあがり、白いB紙が色でうずめられていくにつれて、生徒達が、やるぞという気力あふれた顔に変つていき、一つの仕事にみんながむかっているという一体感が得られるようになった。

ようやく完成した時には「これらの子でもこんなにすばらしいものができるとのぞなあ。」という思いがこみあがってきて、普段の学習指導の場では得られないような喜びを感じるようになった。でき上がった壁新聞を見つめる生徒達の生き生きとした表情を見ると、四月以来、どうしてこんなことがわからないのだろう」とイライラした自分の心が反省させられるような気がした。そして今は、これらの子の能力をもつと信じてやらねばと思つている。

市制施行六十周年記念式



「大正五年、夏の空……」新装成った体育館での市民賛歌の大合唱。そして、市民憲章の制定。私たちは、郷土岡崎に深い愛着をもち、限らない発展を願う。

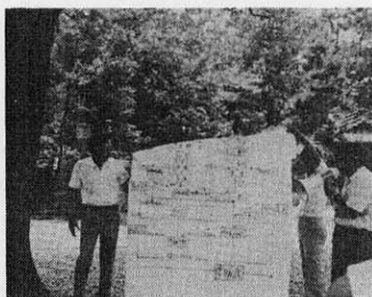
# 一年のあゆみ

- 4・3 新設校今年も二校誕生(大門・竜美丘)
- 4・13 美川中で自主研究推進の現職教育総会
- 5・3 「岡崎子どもまつり」に四万人のよい子たち
- 5・4 新任教員百余名による第一回新任教員研修会は郷土学習
- 5・16 第二十回中学校総合体育大会
- 6・19 葵中での「教職員スポーツ大会」に汗を流す
- 6・22 三島小と竜海中で岡崎市視聴覚研究大会
- 6・26 辻久子バイオリンの夕
- 7・1 市制施行六十周年記念式典盛大に行われる
- 7・11 近代的な市体育館六名町に竣工
- 7・11 市民憲章制定などこの日を中心に各種記念行事開かれる
- 7・11 第四回市民大学九月までに六回開講
- 7・11① 南条範夫・徳川家康の人間管理
- 7・25② 城山三郎・人間たちの魅力
- 8・8③ 茅 誠司・中国の印象
- 8・29④ 渡部昇一・母国語の発見
- 9・12⑤ 井口洋夫・分子の科学
- 9・26⑥ 田中澄江・愛のある人生
- 7・21 第二十九回中学校市長杯総合体育大会始まる
- 優勝男子矢作、女子葵、総合矢作
- 第三回小学校球技大会開始
- 8・12 「中学校生徒会模擬議会」で熱心に討論
- 8・17 本宿「山の家」で新任教員宿泊自主研究会
- 8・30 岡崎市三十七番目の竜美丘小開校記念式
- 9・3 南中で「母と女教師の会」
- 9・21 全国から千余名の参会者を集めて文部省県指定の六ツ美地区道徳教育研究発表会
- 9・23 多くの市民を集めて第八回市民陸上大会
- NHK学校音楽コンクール県大会で葵中最優秀校となり三十日の全国大会出場決定

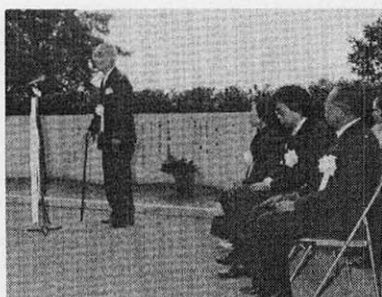
市制施行六十周年・家康公三百六十年記念行事

VTR岡崎市制六〇年の歩み・家康公三六〇年記念写真パネル・記念シナリオ等も作られ・協賛記念行事も多彩であった。

松平八代と家康の史跡めぐり



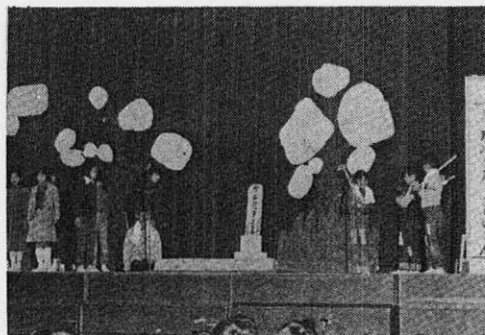
岡崎公園に山岡荘八文学碑



市民賛歌大合唱



郷土劇の上演さかん  
岡崎の花さかじいさん・流転・試練など、郷土の偉人や事件を扱って熱演十数校にのぼる。

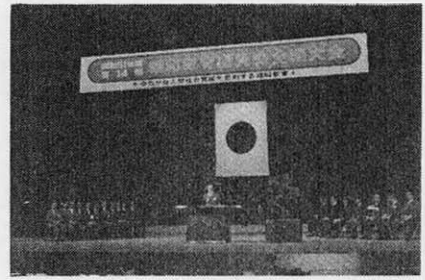




全国規模の研究大会開かれる。岡崎の教育実践と学校間の協力体制に絶讃しきり。各校の研究会も着実に深まりをみせた。



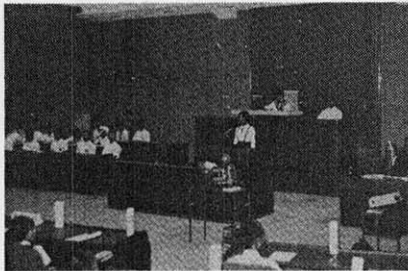
六つ美で道徳の協同研究



理科教育全国大会開催

|          |                |          |                          |                  |                      |                |        |                        |                            |                    |          |           |                                 |                      |          |                     |                    |               |                     |                     |   |               |                     |                    |           |  |              |                        |          |              |
|----------|----------------|----------|--------------------------|------------------|----------------------|----------------|--------|------------------------|----------------------------|--------------------|----------|-----------|---------------------------------|----------------------|----------|---------------------|--------------------|---------------|---------------------|---------------------|---|---------------|---------------------|--------------------|-----------|--|--------------|------------------------|----------|--------------|
| 2・15     | 2・12           | 2・9      | 1・31                     | 1・23             | 1・12                 | 1・9            | 12・25  | 12・10                  | 12・7                       | 12・3               | 11・23    | 11・12     | 11・7                            | 11・3                 | 10・31    | 10・26               | 10・26              | 10・19         | 10・15               | 10・10               | 9・28                                      | 9・24          |                     |                    |           |  |              |                        |          |              |
| 広幡小研究発表会 | 働く婦人会館で海外研修報告会 | 根石小研究発表会 | 「まつり」をテーマに小中学校造形展(十三日まで) | 藤川小学校で図書館教育研究発表会 | 第二十八回市民駅伝、甲山中四年ぶりの優勝 | 美術館にて小中学校書きぞめ展 | 最優秀を獲得 | CBC子ども音楽コンクール中部決勝大会で葵中 | 県外からも多数参加、第三回冬季研修会(二十七日まで) | 第三回PTA文化展、プロ顔負けの作品 | 細川小研究発表会 | い歯の児童生徒表彰 | 「岡崎市学校保健大会」健康優良児童生徒及びよい歯の児童生徒表彰 | ふるさとをテーマに第四回岡崎のハーモニー | 岩津小研究発表会 | 市民大学特別講座山岡莊八先生の記念講演 | 東公園にて第十三回造形おかさきっ子展 | 第十五回小学校陸上競技大会 | 外人ゲスト四名を招き南中で英語暗唱大会 | 市民会館で開き全国から多数の会員が参加 | 甲山中、連尺小「理科教育全国大会」を学校及び市民会館で開き全国から多数の会員が参加 | 文春講演会を市民会館で開催 | 文化都市岡崎にふさわしく人気作家による | 三回小中学校理科作品展はレオ、松坂屋 | 矢作南小研究発表会 | 第三回中学校技家作品展を市民体育館で、第二十三回小中学校理科作品展はレオ、松坂屋 | 審査で全国特選校となる。 | 城北中研究発表会・連尺小学校、健康優良校中央 | 生平小研究発表会 | 岩中で第二十六次教研集会 |

鋭いが建設的な意見や質問、本物の市会議員顔負けの答弁。今日の郷土を見つめ、明日の岡崎を考える生徒たち。まさに生きた社会科学の学習。



中学校生徒議会



中学陸上競技大会



第二十二回母と女教師の会

新しい体育館を使つての最初の作品展。広い会場も力作の数々で埋まった。「ほう、これが中学生の作品か」参観者も異口同音に感嘆の声。



技術家庭科作品展

## XXXXXXXX 昭和51年度研究発表校の研究動向一覽表 XXXXXXXX

| 発表<br>月日                      | 校 名                                       | 分野                    | 研 究 主 題                                  | 研 究 概 要   | 研究資料 (研究物<br>講師・助言者等)                                       |
|-------------------------------|---|-----------------------|--|---|---|
| 6<br>月<br>22<br>日             | 三<br>島<br>小<br>学<br>校                     | 放<br>送                | 学習意欲の高まりを求め<br>て                         | 児童ひとりひとりの考えを大切<br>にし、自ら学ぶ学習能力や態度の<br>育成。                        | ・「テレビ視聴カードの集積」<br>・「岡崎の視聴覚教育」8号                             |
|                               | 竜<br>海<br>中<br>学<br>校                     | 教<br>育                | P T A 活動における放送<br>利用                     | テレビを中心に豊かな人間性の<br>育成に必要な家庭教育、母親のあ<br>りか方を学習。                    | ・講師 大阪大 水越敏行先生  |
| 9<br>月<br>21<br>日             | 六<br>ツ<br>美<br>地<br>区<br>小<br>中<br>学<br>校 | 中<br>部                | 実践力を高める道徳教育<br>—心豊かな六ツ美の子を<br>めざして—      | 読み物を通した指導と指導法の<br>工夫。   | ・講師 筑波大 井上治郎先生<br>・研究物 「心豊かな六ツ美の子」<br>「研究部報」                |
|                               |   | 北<br>部                |  | 道徳の授業の効果的な発問のあ<br>り方。   |   |
|                               |   | 南<br>部                |  | 資料を生かした学習指導。  |   |
|                               |   | 中<br>学                |  | 望ましい物の考え方、感じ方を<br>育てる指導。  |   |
| 9<br>月<br>28<br>日             | 生<br>平<br>小<br>学<br>校                     | 国<br>語・<br>算<br>数     | ひとりひとりの考えを育<br>てる授業                      | 子どもひとりひとりに、たしか<br>に知識を定着させ、それをどう行<br>動化していくか、授業実践につい<br>ての研究。   | ・資料 「研究紀要」「学級指導案」<br>「文集」<br>・助言者 清水毅四郎・石川勲先生他              |
| 10<br>月<br>5<br>日             | 城<br>北<br>中<br>学<br>校                     | 全                     | 豊かな人間性を求めて                               | 開校以来15年間、求め続けてき<br>た「人間性の育成」について、そ<br>の歩みを披露し、今後のあり方を<br>求める。   | ・研究物 「学校づくり120話」他<br>・講師 評論家 扇谷正造先生<br>・助言者 県・市指導主事学校長13名   |
| 10<br>月<br>15<br>日            | 矢<br>作<br>南<br>小<br>学<br>校                | 書<br>く<br>(全)         | 正しく書く指導<br>— 両足を床につけた<br>授業 —            | 絵での学習活動の書くことを具<br>体的で入り易いよびかけて導き、<br>書く心がまえ、うてまえをつける<br>ことを柱に。  | ・研究物 「書写指導集」<br>・助言者 西三・山本直指導主事                             |
| 10<br>月<br>26<br>・<br>27<br>日 | 連<br>尺<br>小<br>学<br>校                     | 理<br>科                | 自ら考え、創造する楽し<br>い理科教育                     | 楽しい学級づくり、学校づくり<br>を基盤とし、人間性の育成をめざ<br>す理科学習。                     | ・研究物 「連尺の教育」  |
|                               | 甲<br>山<br>中<br>学<br>校                     | 全                     | ゆたかな情操と逞しい創<br>造力を培う                     | ゆとりある教育課程の自主編成<br>と実践・週5日制の試み・対話と<br>ふれあい。                      | ・実践記録 「逞しい甲山教育」<br>・講師 茅誠司・蛭谷米司先生他                          |
| 11<br>月<br>12<br>日            | 岩<br>津<br>小<br>学<br>校                     | 体<br>育                | 活動力のあるからだづく<br>り — 主体性・創造性<br>を高める体育活動 — | 進んで取り組む体育学習(ボー<br>ル運動)・ひとりひとりを生かす<br>体育クラブ活動・生活化をめざす<br>体育活動。   | ・研究物 「活動力のあるからだづく<br>り」(2)「体育ノート」低中<br>高<br>・講師 美濃部栄・坂上光男先生 |
| 12<br>月<br>7<br>日             | 細<br>川<br>小<br>学<br>校                     | 国<br>語                | 自ら調べ磨き合い生きる<br>学習の建設<br>— 国語科をとおして —     | 各自の児童が自ら課題にとり組<br>み、自己の考えを確立する点に主<br>体的学習は成立する。・ひとり調<br>べ・作業化。  | ・研究物 「みずから調べ、磨き合<br>い生きる学習の建設」<br>・講師 富山堀川小頭、飯田敏雄先生         |
| 1<br>月<br>21<br>日             | 藤<br>川<br>小<br>学<br>校                     | 全                     | 子どもの中の図書館<br>— 図書館利用の習慣化<br>をめざして —      | 生きて働く図書館とするため、<br>管理運営、読書指導・資料活用、<br>利用指導の分野から、利用の習慣<br>化をめざす。  | ・研究物 「子どもの中の学校図書館」<br>No.1 他<br>・講師 相川高雄・勝尾金弥先生他            |
| 1<br>月<br>9<br>日              | 根<br>石<br>小<br>学<br>校                     | 特<br>別<br>活<br>動      | 望ましい生活態度、習慣<br>の育成<br>— 児童会活動を<br>通して —  | 学級会活動、学級指導の研究を<br>礎とし、全校集団活動を中心にし<br>た「たての人間関係」の拡充をめ<br>ざす研究。   | ・研究物 「わになって」学級指導年<br>間指導計画<br>・講師 筑波大 相川高雄先生他               |
| 2<br>月<br>15<br>日             | 広<br>幡<br>小<br>学<br>校                     | 学<br>び<br>方<br>学<br>習 | 自ら学ぶ力を育てる学習<br>指導(国語・算数)                 | 自ら学ぶ意欲を育てる、漢字・<br>計算ドリルによる基礎づくり。ひ<br>とりに学びを生かした、国語、算数<br>授業の公開。 | ・研究物 「自ら学ぶ 4集」<br>みんなのあしあと<br>・講師 県教委 鈴木泉先生                 |

お知らせ



特殊学級にトランポリン十台

岡崎葵ライオンズがうれしい贈り物

特殊学級の指導に役立ててほしいと、この程岡崎葵ライオンズクラブ(山本重信会長)からトランポリン十台の寄贈があり、二月二十二日連尺小で贈呈式が行なわれた。

寄贈を受けた特殊学級は小学校五校(根石、緑丘、連尺、広幡、細川)中学校五校(甲山、美川、南、葵、城北)で、出席した各学級の児童、生徒と担任は贈呈式後新しいトランポリンを使って楽しい実技研修を行った。

- 【寄贈刊行物・資料等】
- ◇研究紀要子どもの中の学校図書 藤川小学校
- ◇文集自ら学ぶ(みんなのあしあと)第4集 広幡小学校
- ◇研究紀要わになって(特別活動の記録) 根石小学校
- ◇51年度二学期指導員訪問の記
- ◇明日を拓く生活指導(研究録第12集) 生活指導部
- ◇おかぎきの英語第5集 現職教育英語部
- ◇51年度教頭研修 小中教頭会
- ◇文集立志の誓 美川中学校
- ◇文集おかぎき第14集 国語部

学校緑化日本一に連尺小

五十一年度全国学校環境緑化コンクール全国特選(日本一)に連尺小が選ばれ、四月十七日和歌山県那智勝浦町での全国植樹祭で表彰される。

新築移転後十年間にわたる学校、PTA、学区一体となった緑化推進の努力が評価されたもののだが、約二百種、一万本に近い樹木におおわれた学校環境は都心とは思えない素晴らしいもの。小学校の教科書にある樹種の九五%はあるという。四十七年度に城北中が特選校に選ばれて以来、井田小、竜海

●中学校陸上競技種目51年度最高記録

| 種目 | 記録    | 氏名       | 校名                           |
|----|-------|----------|------------------------------|
| 男  | 1年100 | 12' 3    | 荻野竜也 葵                       |
|    | 100   | 11' 6    | 高野勲 常磐                       |
|    | 200   | 24' 2    | 牧能成 葵                        |
|    | 800   | 2' 07" 8 | 鳴井郁夫 葵                       |
|    | 3000  | 9' 53" 6 | 山本鎮 東海                       |
|    | 100H  | 14" 4    | 田畑幸夫 竜海                      |
| 女子 | 800R  | 1' 38" 5 | 葵(佐藤・鳴井・上田・牧・甲山・田代・柏木・大川・杉田) |
|    | 低400R | 49" 8    | 岩津(柏木・水越・梅田・岡田)              |
|    | 走幅跳   | 6 m 39   | 高野勲 常磐                       |
|    | 走高跳   | 1 m 65   | 土柏中 岩木根 建孝 二教員 美甲 葵          |
|    | 砲丸投   | 13 m 72  | 太田勝己 矢作                      |
|    | 三種競技  | 2 4 1 1  | 宮天 鳴野 幸弘 男一 香矢 山作            |
| 女子 | 1年100 | 14' 0    | 岩見孝子 甲山                      |
|    | 100   | 13' 0    | 辻村直美 城北                      |
|    | 200   | 27" 6    | 杉山好子 甲山                      |
|    | 80H   | 12' 8    | 飯田絹子 城北                      |
|    | 400R  | 52" 1    | 城北(辻村・三浦・西山・飯田)              |
|    | 低400R | 56" 0    | 甲山(小林・岩見・成瀬・山本)              |
| 女子 | 走幅跳   | 5 m 30   | 山本美代 甲山                      |
|    | 走高跳   | 1 m 38   | 広山啓好 城北                      |
|    | 砲丸投   | 11 m 22  | 山本初美 東海                      |
|    | 三種競技  | 2 4 5 9  | 酒井俊子 矢作                      |

部、甲山中と続いた記録は連尺小を加えてこれで五校となったわけ。市内ではそれまでも三十六年度から三年間南中、矢南小、葵中が連続受賞しており日本一が八校となった。緑化推進都市岡崎にふさわしい全国でも稀な記録といえよう。

【岡教組五十二年度の役員】  
二月十九日葵中での定期大会で昭和五十二年度の岡教組役員が次のとおり決まった。  
▽執行委員長 野田守司(城北)  
▽副委員長 牧太刀弥(竜海)  
▽書記次長 稲垣恒雄(葵中)  
▽組織部長 大久保正(岩津中)  
▽情宣 長坂則彦(大樹寺)  
▽教文 長谷川四郎(連尺)  
▽調査 田中俊巳(竜谷)  
▽福対 二村邦彦(福岡中)  
▽青年 久保慎一(矢作中)  
▽婦人 須賀千代子(甲山)  
▽近藤正義(緑丘)  
▽会計監査 手嶋秀夫(岩津中)  
▽同 稲葉浩之(城北)

【51年度月報編集委員】  
月報第三十五号から四十六号までの編集担当は次の通り。  
・糟谷 正孝(美川中長)  
・権田 梅芳(美合小長)  
・荻野 卓郎(連尺小頭)  
・山田 利一(六ツ美中部小)  
・渋谷 環(六名小)  
・鳴田 稔(井田小)  
・柴田 勉三(大門小)  
・野村 範(恵田小)  
・高橋 岩雄(葵中)  
・大山 紘司(緑丘中)  
・牧内 映雄(福岡中)  
・松井きよ子(矢作中)  
・竹内 昭次(福岡小)  
・畔柳 吉朗(男川小)  
・金子 一元(竜美丘小)

# 姫之塚

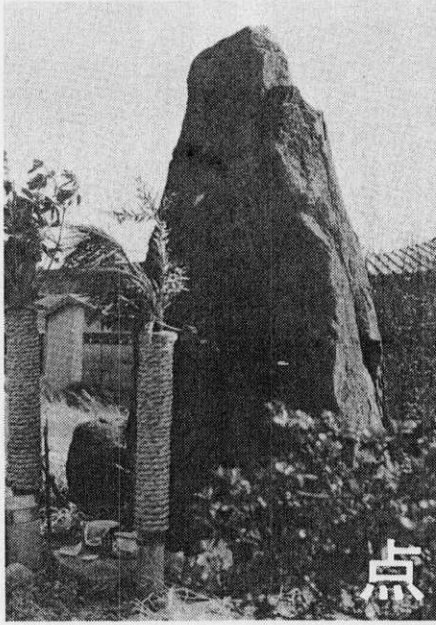
名鉄男川駅から北へ約六百メートル。大西バス停の西の高台に角すい形をした塚が立っている。これが「姫之塚」である。

大西町の古老の話によると、今から約百年前、おとさという人が、名もなき塚を掘り起こしたところ、中から毛髪やかんざし、曲玉などが出てきた。

ところが、おとさという人はおこり（マラリアのような病気）にかかり、気がふれてしまった。毎年、塚を掘り起こした頃になると病気が出る。そうした祟りが怖くて、塚のふた石に「姫之塚」と書いて今の所に建立した。

「姫」というのは、この場所から約三十メートル離れた山の頂点に王塚があり、その稜線上に姫之塚があることから、昔の姫の墓ではないかと推定される。だが、誰の塚かは明らかではない。「三河黒松」という古文書に由来がくわしいとか……。

所在地 岡崎市大西町



カッター

城北中

長谷川晴彦

## この本を

|                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| ○日本人の生死観<br>大蔵出版    | 宗教思想研究会<br>¥ 1,200 |
| ○清張通史 I 邪馬台国<br>講談社 | 松本清張<br>¥ 850      |
| ○日本人の心と色<br>講談社     | 小林重順<br>¥ 980      |
| ○リズム<br>風濤社         | 藤田竜生<br>¥ 1,700    |
| ○現在のなかの歴史<br>新潮社    | 加藤周一<br>¥ 900      |
| ○帰巢本能<br>NHK        | 桑原 萬寿太郎<br>¥ 550   |
| ○叱言・たわごと・独り言<br>新潮社 | 高橋義孝<br>¥ 980      |
| ○天声人語<br>朝日新聞社      | 深代惇郎<br>¥ 980      |
| ○身辺すごろく<br>新潮社      | 永井龍男<br>¥ 1,200    |
| ○暮しの思想<br>中公文庫      | 加藤秀俊<br>¥ 260      |

「芸術性の乏しい者に限って、常に芸術家意識を持つ。非才な者ほど、芸術家ぶりたい気持ち強い」といわれる。教師の世界でも、実力に欠け、自信のない者、実践のない者ほど、形式的になりがちである。教師ぶって子どもに向かう。子どもをスポイルし、自主性の芽をつみ取ってしまう。

こんべえがたねまきやからすがほじくる。

この一年、子どもの心にまいたたね。果たしていつ生えるか。五年後か。十年後か。よし生えたとしても、からすにほじくられ、風雨にいたためつけられる。生長すると若い教師は収穫を急ぎすぎるといわれるが……。

## けしごむ

しめくくり。教師や子どもにとって、一年のしめくくりは、やはり三月である。学習のまとめ、学年末事務、学級文集の作成、お別れ会、プレゼントの交換等、そのしめくくりも多種多様であり、多忙をきわめる時でもある。「師は三世の契」とか。そんな縁につながるしめくくりがしたいものである。

むすびの一番、相撲の世界では、横綱同志の対戦で、千秋楽となる。五十一年度、月報「岡崎の教育」も、本号でめでたく千秋楽。思えば立案、編集、校正と努力はしたものの、いずれもささやかな満足と、大きな悔恨の連続。

四月号よりは新企画も。乞うご期待。